

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理									
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質・性能									<b>3.2</b>		
Q-1 室内環境							<b>0.40</b>		<b>4.0</b>		
1 音環境							<b>2.2</b>		<b>3.0</b>		
1.1 騒音							<b>3.0</b>	0.15	<b>3.3</b>	1.00	0.29
1.1.1 暗騒音レベル							3.0	1.00	3.0	1.00	
1.1.2 設備騒音対策							-	-	-	-	
1.2 遮音							<b>1.0</b>	0.40	<b>3.6</b>		0.50
1.2.1 開口部遮音性能							1.0	1.00	5.0	0.30	
1.2.2 界壁遮音性能							3.0	-	3.0	0.30	
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							3.0	-	3.0	0.20	
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)							3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音							<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>		0.21
2 温熱環境							<b>3.0</b>	0.35	<b>5.0</b>	1.00	<b>4.5</b>
2.1 室温制御							<b>3.0</b>	1.00	<b>5.0</b>	1.00	
2.1.1 室温設定							-	-	-	-	
2.1.2 換気・加湿・除湿制御性							-	-	-	-	
2.1.3 外皮性能					W		3.0	1.00	5.0	1.00	
2.1.4 ゾーン別制御性							3.0	-	-	-	
2.1.5 温度・湿度制御							-	-	-	-	
2.1.6 個別制御							-	-	-	-	
2.1.7 時差・外気調節に対する配慮							-	-	-	-	
2.1.8 監視システム							-	-	-	-	
2.2 湿度制御							-	-	-	-	
2.3 空調方式							-	-	-	-	
3 光・視環境							<b>3.5</b>	0.25	<b>3.8</b>	1.00	<b>3.7</b>
3.1 昼光利用							<b>4.2</b>	0.43	<b>4.6</b>	0.50	
3.1.1 昼光率							5.0	0.60	5.0	0.50	
3.1.2 方位別開口							-	-	5.0	0.30	
3.1.3 昼光利用設備					W		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策							-	-	<b>3.0</b>	0.50	
3.2.1 曇りガラスのガラス							-	-	-	-	
3.2.2 昼光制御					W		-	-	3.0	1.00	
3.3 照度							<b>3.0</b>	0.21	-	-	
3.3.1 照度							3.0	1.00	-	-	
3.3.2 照度対策							-	-	-	-	
3.4 照明制御							<b>3.0</b>	0.36	-	-	
4 空気環境							<b>4.2</b>	0.25	<b>4.3</b>	1.00	<b>4.3</b>
4.1 発生源対策							<b>5.0</b>	0.60	<b>5.0</b>	0.63	
4.1.1 化学物質汚染							5.0	1.00	5.0	1.00	
4.1.2 化学物質対策							-	-	-	-	
4.1.3 デニール対策							-	-	-	-	
4.1.4 レジオネラ対策							-	-	-	-	
4.2 換気							<b>3.0</b>	0.40	<b>3.3</b>	0.38	
4.2.1 換気量							3.0	0.50	3.0	0.33	
4.2.2 自然換気性能							3.0	-	4.0	0.33	
4.2.3 取り入れ外気への配慮							3.0	0.50	3.0	0.33	
4.2.4 給気計画							-	-	-	-	
4.3 運用管理							-	-	-	-	
4.3.1 CO <sub>2</sub> の監視							3.0	-	-	-	
4.3.2 喫煙の制御							-	-	-	-	
Q-2 サービス性能							-	0.30	-	-	<b>3.3</b>
1 機能性							<b>3.4</b>	0.40	<b>3.8</b>	1.00	<b>3.7</b>
1.1 機能性・使いやすさ							<b>3.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.60	
1.1.1 広さ・収納性							3.0	-	3.0	-	
1.1.2 高度情報通信設備対応							3.0	-	4.0	1.00	
1.1.3 バリアフリー計画							3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性							<b>4.0</b>	0.40	<b>3.5</b>	0.40	
1.2.1 広さ感・景観							-	-	3.0	0.50	
1.2.2 リフレッシュスペース							-	-	-	-	
1.2.3 内装計画							4.0	1.00	4.0	0.50	
2 耐用性・信頼性							<b>3.0</b>	0.31	-	-	<b>3.0</b>
2.1 耐震・免震							<b>3.0</b>	0.48	-	-	
2.1.1 耐震性							3.0	0.80	-	-	
2.1.2 免震・制振性能							3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数							<b>3.1</b>	0.33	-	-	
2.2.1 外壁仕上げ材の補修必要間隔					W		2.0	0.29	-	-	
2.2.2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					W		4.0	0.12	-	-	
2.2.3 配管・配線材の更新必要間隔					W		4.0	0.29	-	-	
2.2.4 主要設備機器の更新必要間隔					W		3.0	0.29	-	-	
2.3 適切な更新							-	-	-	-	
2.3.1 床・壁・天井・外壁仕上げ材の更新							-	-	-	-	
2.3.2 配管・配線材の更新							-	-	-	-	
2.3.3 主要設備機器の更新							-	-	-	-	
2.4 信頼性							<b>2.8</b>	0.19	-	-	
2.4.1 空調・換気設備							3.0	0.20	-	-	
2.4.2 給排水・衛生設備							3.0	0.20	-	-	
2.4.3 電気設備							3.0	0.20	-	-	
2.4.4 機械・配管支持方法							1.0	0.20	-	-	
2.4.5 通信・情報設備							4.0	0.20	-	-	

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理			建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
	W	G	S						
<b>3 対応性・更新性</b>					<b>3.1</b>	0.29	<b>3.1</b>	1.00	<b>3.1</b>
3.1 空間のゆとり							<b>3.2</b>	0.50	
1 階高のゆとり				階高2900以上としている。	4.0	-	4.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ					4.0	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.50	
3.3 設備の更新性					<b>3.1</b>	1.00		-	
1 空調配管の更新性				構造材を痛めることなく、配管の更新が可能としている。	3.0	0.17		-	
2 給排水管の更新性					4.0	0.17		-	
3 電気配線の更新性					3.0	0.11		-	
4 通信配線の更新性					3.0	0.11		-	
5 設備機器の更新性					3.0	0.22		-	
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22		-	
<b>Q-3 室外環境(敷地内)</b>					-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.2</b>
1 生物環境の保全と創出		G			<b>1.0</b>	0.40		-	<b>1.0</b>
2 まちなみ・景観への配慮		G			<b>3.0</b>	0.20		-	<b>3.0</b>
3 地域性・アメニティへの配慮					<b>3.0</b>	0.40		-	<b>3.0</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S		<b>3.0</b>	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G			<b>3.0</b>	0.50		-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>									<b>3.4</b>
<b>LR-1 エネルギー</b>					-	<b>0.40</b>	-	-	<b>4.5</b>
1 建物の熱負荷抑制	W			日本住宅性能表示基準の省エネルギー対策等級4を満たしている	<b>5.0</b>	0.40		-	<b>5.0</b>
2 自然エネルギー利用					<b>2.5</b>	0.20		-	<b>2.5</b>
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				<b>2.0</b>	0.50		-	
2.2 自然エネルギーの変換利用	W	S			<b>3.0</b>	0.50		-	
3 設備システムの高効率化	W			潜熱回収型の給湯設備を設けている。	<b>5.0</b>	0.40		-	<b>5.0</b>
4 効率的運用									
4.1 モニタリング	W				<b>3.0</b>	-		-	
4.2 運用管理体制	W				<b>2.0</b>	-		-	
<b>LR-2 資源・マテリアル</b>					-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.0</b>
1 水資源保護					<b>3.0</b>	0.15		-	<b>3.0</b>
1.1 節水	W				<b>3.0</b>	0.60		-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用					<b>3.0</b>	0.40		-	
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67		-	
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33		-	
2 低環境負荷材					<b>3.0</b>	0.85		-	<b>3.0</b>
2.1 資源の再利用効率					<b>3.0</b>	0.35		-	
1 躯体材料の再利用効率	W				3.0	0.67		-	
2 非構造材の再利用効率	W				3.0	0.33		-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				<b>3.0</b>	0.04		-	
2.3 有害物質を含まない材料	W				<b>3.0</b>	0.08		-	
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				<b>3.0</b>	0.18		-	
2.5 部材の再利用可能性	W				<b>3.0</b>	0.18		-	
2.6 フロン・ハロンの回避					<b>3.5</b>	0.18		-	
1 消火剤	W			ハロン消火剤を一切使用していない。	4.0	0.50		-	
2 断熱材	W				3.0	0.50		-	
3 冷媒	W				-	-		-	
<b>LR-3 敷地外環境</b>					-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.3</b>
1 大気汚染防止	W				<b>3.0</b>	0.10		-	<b>3.0</b>
2 騒音・振動・悪臭の防止					<b>3.0</b>	0.05		-	<b>3.0</b>
2.1 騒音					3.0	1.00		-	
2.2 振動					-	-		-	
2.3 悪臭					-	-		-	
3 風害、日照阻害の抑制					<b>1.6</b>	0.10		-	<b>1.6</b>
3.1 風害の抑制					1.0	0.70		-	
3.2 日照阻害の抑制					3.0	0.30		-	
4 光害の抑制				「光害対策ガイドライン」のチェック項目の一部を満たしている。	<b>4.0</b>	0.05		-	<b>4.0</b>
5 温熱環境悪化の改善	W	G	S		<b>1.0</b>	0.30		-	<b>1.0</b>
6 地域インフラへの負荷抑制					<b>3.0</b>	0.40		-	<b>3.0</b>
6.1 雨水処理負荷抑制	W				3.0	0.30		-	
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10		-	
6.3 交通負荷抑制			S		3.0	0.30		-	
6.4 廃棄物処理負荷	W				3.0	0.30		-	

LR-1 用途別点表		集合住宅	-	-	-	面積按分
		2,350 m <sup>2</sup>	-	-	-	総合スコア
1	建物の熱負荷抑制	5.0	-	-	-	5.0
3	設備システムの ERRIによる評価	-	-	-	-	5
	高効率化 個別設備による評価	5.0	-	-	-	
3.1	空調設備	-	-	-	-	-
3.2	換気設備	-	-	-	-	-
3.3	照明設備	5.0	-	-	-	-
3.4	給湯設備	5.0	-	-	-	-
3.5	昇降機設備	3.0	-	-	-	-